



残暑もようやく和らいできました。今月号も最新トピックスをお届けします。

## 国内動向

### ① 労働安全衛生法施行令及び厚生労働省組織令の一部を改正する政令等の施行について(化学物質等の表示及び危険性又は有害性等の調査に係る規定等関係)(平成27年8月3日基発0803第2号)の通知(厚生労働省)

厚生労働省は8月3日、労働安全衛生法施行令及び厚生労働省組織令の一部を改正する政令等の施行について(化学物質等の表示及び危険性又は有害性等の調査に係る規定等関係)の通知を公表した。昨年6月25日、労働安全衛生法の一部を改正する法律(平成26年法律第82号)が公布され、化学物質等の危険性又は有害性等の調査等に係るものについては、平成27年6月10日付けの労働安全衛生法の一部を改正する法律の施行期日を定める政令(平成27年政令第249号)で、施行期日が平成28年6月1日となった。表題の通知では、これらの改正内容や留意点などが盛り込まれている。

<http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T150805K0050.pdf>

### ② 「化学物質のリスク評価検討会報告書」の公表(厚生労働省)

厚生労働省は8月12日、化学物質による労働者の健康障害のリスク評価を実施する「化学物質のリスク評価検討会」の平成27年度第1回報告書を公表した。「ヒトに対して発がん性の可能性がある」、または「神経毒性または生殖毒性がある」とされている5物質(塩化アリル、クメン、三酸化ニアンチモン、酸化チタン(ナノ粒子)、グルタルアルデヒド)についてリスク評価が行われ、三酸化ニアンチモンは健康障害防止措置の検討に着手、塩化アリルは詳細リスク評価が実施されることになった。これに先立ち、リスクが高い状況が見られた事業場に対し適切にばく露防止措置を講じるよう指導が行われる。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000093215.html>

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000093673.html>

### ③ 第8回「化学物質と環境に関する政策対話」の開催(環境省)

環境省は9月3日、化学物質対策に関して国民、事業者、行政、学識経験者等が参加した意見交換・合意形成の場として設置した第8回会合「化学物質と環境に関する政策対話」を公開開催する。今回は、主としてSAICM(国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ)への取組状況の報告、9月28日から10月2日に開催される第4回国際化学物質管理会議(ICCM4)への対応について議論される。

<http://www.env.go.jp/press/101313.html>

## 海外動向

### ① 第4回国際化学物質管理会議(ICCM4)の会議資料公表(国連環境計画(UNEP))

UNEPは、9月28日から10月2日に開催されるICCM4の会議資料を公開した。本会議はSAICM(国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ)の推進を目的としている。また、今回のICCMでは、環境残留性のある医薬汚染物質(EPPP: Environmentally Persistent Pharmaceutical Pollutants)を新たに緊急テーマ(Emerging Issues)とするかの議論が行われる予定である。

[http://www.saicm.org/index.php?option=com\\_content&view=article&id=525:meeting-documents](http://www.saicm.org/index.php?option=com_content&view=article&id=525:meeting-documents)

[-iccm4-geneva-28-sept-2-oct-2015&catid=223:iccm4&Itemid=700](http://www.saicm.org/index.php?option=com_content&view=article&id=525:meeting-documents-iccm4-geneva-28-sept-2-oct-2015&catid=223:iccm4&Itemid=700)



### ② フタル酸エステル類の累積的リスク評価法提案(カナダ環境省及び保健省)

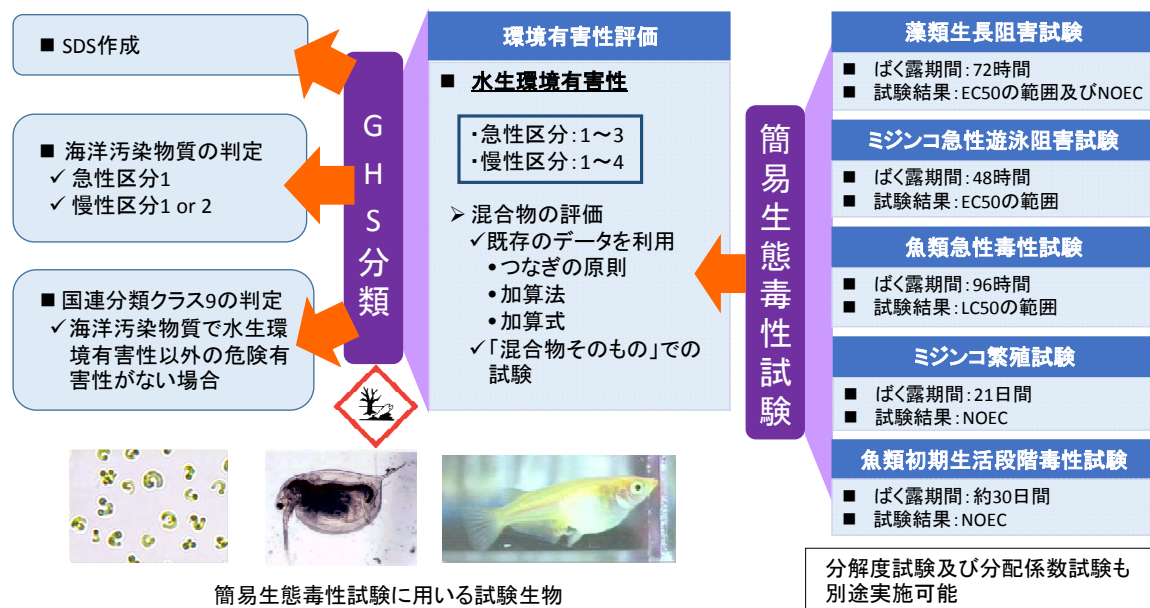
カナダ環境省及び保健省は8月1日、フタル酸エステル類の累積的リスク評価方法を提案し、意見募集を開始した。意見募集の期限は9月30日までの60日間である。

<http://www.chemicalsubstanceschimiques.gc.ca/group/phthalate/index-eng.php>

## 特集 ④⑨ : GHS/SDS 対応 CERi のサポートメニュー第 4 回(水生環境有害性試験)

6月号より始めましたGHS(化学品の分類及び表示に関する世界調和システム)による危険有害性の分類とラベル表示、安全データシート(SDS)の作成に係るCERiのサポートメニューを紹介しております。今月号では、水生環境有害性に関する試験をご紹介します。

水生環境有害性では、藻類、ミジンコ、魚類に対する毒性情報等から化学品の急性区分(1~3)及び慢性区分(1~4)を決定します。混合物について、「混合物そのもの」の毒性情報がない場合、通常、含有成分の既知の毒性情報に基づき加算法又は加算式により区分を決定します。しかし、加算法又は加算式は毒性を強く見積もる傾向があるため、「混合物そのもの」での試験を実施して区分を決定する方がより適切な評価となるケースがあります。GHS区分を見直したい等、ご要望に応じて試験メニューをご提案いたしますので、お気軽にお問い合わせください。



## お知らせ

### 論文掲載

石井職員らが執筆した「Investigation of the amount of transdermal exposure of newborn babies to phthalates in paper diapers and certification of the safety of paper diapers」がRegulatory Toxicology and Pharmacology, 73, 85-92, 2015に掲載されました。紙オムツ表面材中のフタル酸エステル類について分析し、リスク評価を行って安全性を確認したものです。

<http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0273230015001579>

### ICH M7に関するセミナーの開催

平成27年9月30日(水)、東京都大田区(大田区産業プラザ)において開催されるセミナー「これから対応する企業のための ICH M7 変異原性不純物ガイドライン徹底解説」で菊野職員が講師を務めます。

<http://www.science-t.com/st/cont/id/24429>

### コントロール・バンディングに関するセミナーの開催

平成27年9月30日(水)、東京都品川区(きゅりあん)において開催されるセミナー「《改正 安衛法》2016年6月までにマスターしたい、健康リスクアセスメント手法とコントロール・バンディング」で片桐職員、北村職員が講師を務めます。

<http://www.science-t.com/st/cont/id/24320>

ご質問等ございましたら、以下の連絡先にお気軽にお問い合わせください。

**CERI** 一般財団法人 化学物質評価研究機構  
Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-25 日教販ビル7F

安全性評価技術研究所 研究第二部

Tel: 03-5804-6136 (担当者: 石井(聡)、菊野、林)

URL: <http://www.cerij.or.jp> E-mail: [cac-reach@ceri.jp](mailto:cac-reach@ceri.jp)